

【学内限定】
2020年度 KGRI 新型コロナウイルス危機研究 補助金（募集）

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）は世界に開かれた学際的研究を推進する義塾のプラットフォームです。実学の精神に基づき、世界的課題の解決のため学際的研究を推進し、その成果をグローバル発信することをミッションとしています。

現在進行しつつある世界的な「新型コロナウイルス危機」は、人々の生活、医療、経済、政治、そして国際政治、安全保障とあらゆる局面において深刻な影響を及ぼしています。まだこの暗いトンネルを人類がどのようなかたちで抜けだすことができるのか、見通しはたっていません。中国で最初に発生した危機は、次々と世界各地に広がり、これから医療体制が脆弱な地域にも広がりを見せようとしています。いつか終わるこの危機は、それが終わった時、大きな痕跡を人類社会に残すこととなります。「コロナ以前」と「コロナ以後」では、私たちの生活空間の在り方も大きく変わると思われます。共通の「実存的脅威」に立ち向かうべく国際協調の方向に向かうのか、それとも、つながることを拒否して断絶と相互不信の連鎖を生み出していくのか、その変化の方向性は予断を許しません。

本研究補助金は、こうした問題意識に立ち、ポスト新型コロナウイルス危機に関する領域を超えた研究を支援するものです。この危機に立ち向かうためには、領域を超えた総合知を動員する必要があります。よって、本研究補助金は、自然科学、人文化学、社会科学、応用科学を問わず、分野を横断したプロジェクトを積極的に支援していきたいと考えています。さらに、世界にむけて日本がこの危機にどう対応したか、そしてどう乗り越えていくかをモデルとして提示する必要性も出てきます。日本の教育・研究機関として、その責務も果たしていくことを視野に入れているものでもあります。

積極的な応募を期待しています。

1 申請資格（研究代表者）

- ・本塾教員（助教、有期教員を含む）であること。

2 対象とする研究

- （1）新型コロナウイルスの影響を最大限抑えるための緊急対策に向けた研究
- （2）ポスト新型コロナウイルスを踏まえた中長期的対策に向けた研究

単一の研究グループの研究のみでなく、慶應義塾の内外の複数のグループ（海外拠点も含む）にまたがる学際的研究を推奨します。また、応募された提案をもとに、KGRI でいくつかのご提案を組み合わせ、より学際的な研究課題として提案させていただくこともあります。

3 補助額

2 件程度、500 万円／件を上限とする。

4 研究期間

2020年6月～2021年3月

ただし、特に優れた研究は、新たに申請・審査の上、延長する場合もある。

5 応募締切

2020年5月25日（月）正午締切

6 応募方法

A4用紙1・2ページ（書式自由）に新型コロナウイルス危機研究に関する研究提案を記載して、KGRI事務局（学術研究支援部 KGRI 担当）宛にメールにてご提出ください。

応募いただいたものを書類選考したのち、必要に応じてヒアリングを行います。

また、採択後、改めて予算を含めた詳細な計画書を提出していただきます。

【応募宛先・お問い合わせ先】

学術研究支援部 KGRI 担当

kgri-web@adst.keio.ac.jp